

第5回相模原市行財政構造改革本部会議 会議録

日時 令和2年2月26日(水)午後4時30分～

会場 第1特別会議室

出席者 市長、下仲副市長、隠田副市長、森副市長、教育長、総務局長、企画財政局長、企画財政局理事、危機管理局长、市民局長、健康福祉局長、こども・若者未来局長、環境経済局長、都市建設局長、緑区長、中央区長、南区長、議会局長、教育局長、消防局長

開会のあいさつ

1 収支均衡に向けた歳出構造の再構築策のイメージについて

- 事務局より、議題について「資料」に基づき説明。

<主な質疑等>

「1「本市が特に重点的に力を入れる分野」の設定」の「(2)行政の支援が真に必要な市民に対する施策」とは、どのような施策が該当するのか。

健康上の事由等により日常生活に支障をきたす方への支援などが対象となると考えており、そうした意味では、福祉分野が多いのではないかと思う。

「本市が特に重点的に力を入れる分野」を明確に設定することにより、地区によっては行政サービスが低下していくのではないかと住民が不安を抱くことも考えられるので、そうしたことに対する配慮も必要と考えられる。

「公共施設の適正配置」については、施設の種別ごとに検証し、多すぎるものを明らかにしていく中で、同時に不足しているものについても見えてくるのではないか。

さがみはら津久井産材を生かして林業の振興に力を入れていくことは良い取組だと思うが、成果が出るまでには時間がかかる。

ロボット産業については、本市は業界でもトップクラスであり、本市の産業集積促進条例においても力を入れていくこととしていることから、「本市の個性を生かす分野」への位置付けはふさわしいと思う。

「本市が特に重点的に力を入れる分野」の内容を個別に議論する前に、その項目を選定するに当たっての考え方や方針等を示すべきなのではないか。

「相模原市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の策定に当たって実施した転入転出実態アンケート調査の結果を見ると、本市を居住地として選んだ理由として生活環境を挙げる回答が少なかったため、これを多くするような取組を行う必要があるのではないか。

「本市が特に重点的に力を入れる分野」に位置付けられた関連の費目は、可能な限り

財源が確保されることとなるが、それ以外の費目については限られた財源の中で事業を実施せざるを得なくなる。該当する局は、このことを理解しているのか。

広域交流拠点の整備については、目的別経費ごとの活用可能額の範囲内で行うことは不可能であり、市を挙げて取り組んでいくべきものとする。

大規模な開発事業等を行っていない現状において、なぜここまで財政状況が厳しいのか、何が原因でこのような状況になっているのか、その分析が不足しているのではないか。

- 2 その他
特になし

以 上